

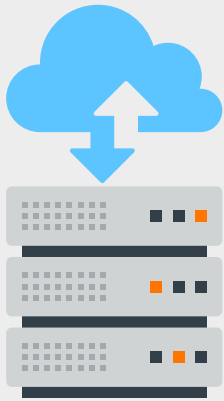
大量のデータを処理する VMwareワークロードのための クラウド移行準備ガイド

クラウドへの移行がなかなか進まないとしても、それはお客様だけではありません。データ量が膨大で、大量のストレージを必要とするワークロードをクラウドに移行している企業は2%にすぎません¹。クラウド移行は複雑で、コストがかかり、運用方法が従来の環境とは異なります。それが大きな障害になっていると思われます。しかし、いくつかの手順を踏んでインフラを準備しておけば、将来のクラウド移行は、はるかにスムーズになるでしょう。

万全の準備で、クラウド移行の成功者になりましょう。

オンプレミスのデジタル基盤を最新化する

仮想インフラの更新、アップグレード、レベルアップを行う際に、真に統合されたハイブリッドクラウド環境を構築すると、オンプレミスとクラウドを一貫した方法で運用できるようになります。



準備項目

- VMware vSphereを最新バージョンに更新する
- オールフラッシュストレージに移行し、オンプレミスとクラウドで一貫したエンタープライズクラスのデータ管理を実現する
- NetApp® ONTAP®データ管理ソフトウェアを使用して、オンプレミスとクラウドのアーキテクチャに一貫性を持たせる。併せて、最新バージョンに更新して、新機能（NVMeのサポートなど）を利用できるようにする
- ハードウェアをクラウド対応型にアップグレードする

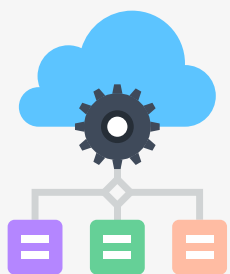
推奨事項

- ネットアップのCloud InsightsやCloud Data Senseなどのクラウドデータサービスを使ってみる

¹ IDC Survey Spotlight 「What is European Organizations' Attitude Toward Using Public Cloud Services?」 2022年1月

オンプレミスに仮想プライベート クラウドを構築する

パブリック クラウドがお客様のビジネスにどのように役立つかを知りたいはありませんか？手始めに、オンプレミスに仮想プライベート クラウドを構築して確認しましょう。



準備項目

- vSphereを最新バージョンに更新する
- VMware Cloud Foundationを導入する
- 重要性の低いファイルをクラウドでテスト運用してみる

推奨事項

- DevTestなどのユースケースをクラウドで試す

アプリケーションを高速化する

エンタープライズ アプリケーションをクラウドに移行すると、オンプレミス ソリューションに求められるCAPEX（設備投資）と管理スキルが不要になり、将来のコストを大幅に削減できます。



準備項目

- Kubernetesで、新しいクラウドネイティブ ワークロードに対応する
- ONTAPを使用し、オンプレミスとクラウドのアーキテクチャに一貫性を持たせる
- VMware Tanzuを導入する
- エンタープライズ アプリケーションをクラウドへ移行する

推奨事項

- オンプレミス環境に導入されている既存のvSphereハイパーバイザーとONTAPストレージシステムを活用する

ネットアップとVMware：クラウド移行の強力なパートナー

データセンターを今のうちに最新化しておけば、大量のデータを扱うVMwareワークロードを将来ハイブリッド マルチクラウドに移行するための準備が整い、クラウド運用を成功させることができます。ネットアップとVMwareのソリューションを使用すれば、AWS、Azure、Google Cloudといった主要なクラウドのいずれにもVMwareワークロードをスムーズに移行できます。最初にアプリケーションのリファクタリングを行う必要がないため、時間とコストがかからず、複雑さに悩むことなく移行できます。



クラウド移行を本格的に検討しませんか？

ネットアップのVMware向けソリューションをチェックして、洗練された最新のクラウド対応インフラを実現しましょう。

